

2 学期始業式にあたって

10 日あまりと例年より短かった夏休み、どのように過ごしたでしょうか。短いながらも充実した日を過ごせたものと期待しています。そして、まずはこの夏休み中に大きな事故や感染などの報告がなかったことにほっとすると共にうれしく思います。

さて、いよいよ 2 学期が始まります。2 学期は実りの秋、蒼輝祭やロードレース・文化祭、そして今年は 120 周年記念式典など多くの行事があります。また 3 年生にとっては進路決定の重要な時期になります。

そのような 2 学期の始業式にあたり、一つお話をします。

中国の後漢書（ごかんじょ）に「疾風に勁草を知る（しっふうにけいそうをしる）」という言葉があります。激しい風（疾風）が吹いて初めて強い草（勁草）が見分けられるように、厳しい試練にあって初めてその人の意志の強さや節操の堅固さ、人間としての値打ちがわかることのたとえです。1 学期の終業式で、このコロナ禍の状況の中でも、前を向いて自分のやるべきことを見失わずに歩みを続け、部活動や学校生活に励んだ皆さんの姿は賞賛に値するものだと話しました。まさにこの言葉通りではないでしょうか。これからもまだまだ収まることを知らないコロナ禍の中、どのような逆風が吹くかわかりません。そんな中でもそれぞれが自分の目標実現に向けて勁草のように力強く、きびしく、高く、美しく、立ち向かって欲しいと思います。ちょうど今年の蒼輝祭の統一テーマが「雑草魂」です。逆風にあっても負けず、強い意思を持ち力強く根を張って頑張っていきましょう。

さて、夏休みに入るとすぐに松江の高校で集団感染のニュースが流れ部活動など心配もあったことと思います。このことで、ひとたび学校で感染が起これば校内外の様々な活動で感染の可能性が広がり活動が制限されることが示されたと思います。これを教訓に今一度、一人一人が感染予防の意識を高め、感染しない、させないために、日々の健康観察、3 密を避ける行動、手洗い・消毒、マスク着用など出来ることは確実にいき、2 学期の行事が、新しい生活様式の中で計画通り行えるよう、みんなで協力し感染予防に取り組んでいきましょう。

まだまだ暑い日が続きます。感染対策に加え熱中症にも十分注意をして、体調がおかしいと思ったときには無理をせず、みんな元気で学校行事を成功させましょう。

2020年8月19日

安来高等学校

校長 柳樂 眞悟